

鳥取市学校教育情報化推進計画（案）に係る市民政策コメントの意見及び意見に対する市の考え方

1 募集期間 令和4年10月7日（金）～令和4年10月28日（金）

2 募集結果 35件（8名、1団体）

○「第1章 計画策定の基本的な考え方」について

・「2計画の位置づけ」及び「4推進体制と計画の進行管理」について

| No. | 意見の要旨  | 意見に対する市の考え方   | 担当課   |
|-----|--|---|-------|
| 1   | 国、鳥取県、鳥取市の関係法令、各計画との連携、整合性が図られ、本計画策定の趣旨がよく理解できる。計画の進行管理に示されている定期的な点検評価の結果を具体的に示していくことが大切だと考える。 | 鳥取市学校教育情報化推進本部において、施策の成果を定期的に検証・評価し、鳥取市GIGAスクール推進委員会において、ICT活用能力の向上について、検討・協議を行ってまいります。   | 学校教育課 |
| 2   | 鳥取市の「第2期鳥取市教育振興基本計画」を策定した頃と現在の状況が大きく変わってきていることを考えると、その整合性を図るために「教育振興基本計画」の中間見直しも必要かと思う。        | 教育振興基本計画（令和3年度～令和7年度）は、教育の目標や施策の根本となる方針を定めた「鳥取市の教育等の振興に関する大綱」に定めた基本方針についての具体的な方向性を示すものとして、SDGsに関する取組みや新型コロナウイルス感染症への対策を含む社会全体の変化や課題を踏まえた上で策定したものです。計画期間中の見直しは行わず、施策の進行状況や効果を検証し、その結果を各事業に反映させることにより、状況の変化への対応とともに施策の着実な推進を図ります。 | 教育総務課 |

○「第3章 本市の教育の情報化のための方向性」について

| No. | 意見の要旨   | 意見に対する市の考え方   | 担当課   |
|-----|---|---|-------|
| 3   | P6からの【方針1】～【方針4】に対して具体的な取組がいくつかあげられているが、主語がないため、市教委がすることと学校がすることの区別がつきにくい。また、市教委と学校がすることが混在していると思われる。<br>たとえば<br>【方針1】（3）新たな価値を生み出す創造力の育成の具体的な取組<br>・鳥取県教育委員会と・・・市教委<br>・企業や大学等の・・・学校<br>・子どもたちの・・・学校？市教委？（司書教諭及び学校司書のICT活用能力の向上は？）<br>【方針3】（4）校務の情報化による教職員の働き方改革の具体的な取組<br>・アンケート集計・・・学校<br>・日常の業務が・・・市教委？学校？<br>・学校業務支援システムの・・・市教委<br>・学校内の会議や・・・学校 | 具体的な取組については、いずれも市教育委員会と学校が連携しながら実施していくものです。学校教育情報化に向け学校と一層連携を図りながら進めてまいります。 | 学校教育課 |
| 4   | 学校教育情報化の3つの側面である「情報活用能力の育成」「ICTを効果的に活用した分かりやすく深まる授業の実現（授業改善）」「ICTを活用した校務の情報化（システムの導入等）」に沿い、鳥取県の方針とも整合性がとれており、よい方向性だと思う。   | 今後も国、県の方針に沿いながら市として積極的に進めてまいります。  | 学校教育課 |

| No. | 意見の要旨  | 意見に対する市の考え方                            | 担当課   |
|-----|--|--|-------|
| 5   | 推進スケジュールの「方針4 教育情報化に向けた体制整備」の令和4年度から「鳥取市学校教育情報化推進計画第1期」と記載されている点に違和感がある。(本計画の名称そのものである)。より具体的な取組が分かる記載(表現)があればよいと思う。<br>ちなみに、鳥取県は「連携・調整」と記載されているが、やや具体性に欠けていると感じる。 | ご指摘のとおり、計画全体のスケジュールとなりますので、この部分は削除します。 | 学校教育課 |

・【方針1】子どもたちの学びを広げ、力を高める～情報活用能力の向上～について

| No. | 意見の要旨   | 意見に対する市の考え方   | 担当課   |
|-----|---|---|-------|
| 6   | 方針1の指標・目標値が情報モラルの側面のみになっているので、「情報活用の実践」とつながる内容も入れてはどうだろうか。                        | 指標・目標値については、情報モラル意識の醸成が情報活用の実践力を高めるうえでも大切であると考え、子どもたちのよりよいICT活用につながる意欲に着目して設定しています。                             | 学校教育課 |
| 7   | 小学校1年生から中学校3年生までの9年間に育成していく情報活用能力について、それぞれの発達段階に応じて身につける力を学校と保護者と共有できるとよいのではないかと。 | 「鳥取市GIGAスクール構想についてver.3」や「とっとりICT活用ハンドブック(鳥取県策定)」内の情報活用能力の体系表を本計画に資料として掲載するとともに、学校と保護者が共有することができるよう周知を図ってまいります。 | 学校教育課 |

・【方針2】教職員の指導力・活用力の向上について

| No. | 意見の要旨   | 意見に対する市の考え方  | 担当課      |
|-----|---|--|----------|
| 8   | 目標達成のためには、「方針2 教職員の指導力・活用力の向上」のウェットが非常に大きいと考える。計画されている教職員研修の充実を図るのはもちろんのこと、ICT推進員の全校配置等も進め、学校間に格差が生まれないよう計画を推進していただきたい。 | 教職員の指導力・活用力向上のため、教職員研修の充実を図ってまいります。また、本市では、令和4年度から「鳥取市GIGAスクール運営支援センター」を設置し、学校現場での支援に努めているところです。 | 学校教育課    |
| 9   | 具体的な取組として体系表の提示や多様な研修等の機会を多く企画していただけることは大変ありがたいと感じます。ただ、学校現場としては、多くの教員が研修に参加するための体制(年次計画等)が必要ではないかと考えます。                | 教職員の細やかなニーズに合わせた内容を、オンデマンド研修等受講しやすい形態で提供していきたいと考えています。   | 総合教育センター |

・【方針4】教育情報化に向けた体制整備について

| No. | 意見の要旨  | 意見に対する市の考え方   | 担当課   |
|-----|--|---|-------|
| 10  | 具体的な取組と指標・目標値について<br>具体的な取組の内容と指標・目標値の記述にズレがあるのではないかと。具体的な取組は、主に市教委が実施することとして記述されていると思われるが、指標は、児童の実態が指標となっている。市教委が実施したことについて指標を設けてはどうか。        | 指標・目標値については、学校教育情報化に向けた体制整備の具体的な取組を実施することによって、子どもたちのICT活用がより一層促進されると考えるため、子どもたちの姿がどのように変容したかということに着目して設定をしています。   | 学校教育課 |
| 11  | (1)組織的な教育情報化の推進の指標・目標値について<br>指標が「受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を毎日使用した児童生徒の割合」となっているが、「毎日使用する」ことは、かなりハードルが高いと思われる。<br>特に、新1年生にとっては、毎年活用初期からのスタートである。 | 本市では、日常的にICTを活用して子どもたちの主体的に学ぶ力を育成するため、指標・目標値を計測する対象者を、最終学年である小・義務教育学校6年生および中学校3年生・義務教育学校9年生とし、「毎日使用する」ことを指標として設定しています。また、初めてタブレットを触る小・義務教育学校1年生には、丁寧な指導を行ってまいります。 | 学校教育課 |

| No. | 意見の要旨  | 意見に対する市の考え方   | 担当課   |
|-----|--|---|-------|
| 12  | (1) (2)の指標・目標値が設定されているが、基本的な考え方、具体的な取組の結果を測る指標として、合っていないように感じます。体制整備の達成具合、学校・家庭・地域による連携を測る指標・目標が必要ではないでしょうか。           | 指標・目標値については、教育情報化に向けた体制整備の具体的な取組を実施することによって、子どもたちのICT活用がより一層促進されると考えるため、子どもたちの姿がどのように変容したかということに着目して設定をしています。 | 学校教育課 |
| 13  | (1)、(2)ともに指標・目標値が基本的な考え方や具体的な取組に十分対応しているとは言えないと感じます。児童生徒の割合というより、体制整備に向けた具体的な取組に、実際どう取り組んだのかが指標・目標値になってもよいのではないかと思います。 |   |       |
| 14  | (2)家庭・地域との連携のため、情報モラル教育やデジタル・シチズンシップ教育の推進もですが、情報化推進計画がめざすビジョンが子どもの姿として、今まで以上に具体的に家庭や地域に広報され示されることも重要かと思えます。            | 家庭や地域と連携・協働して取り組むことができるよう、本市の学校教育の情報化の目指す方向性について広報していくことはもとより、学校でのICTを活用した取組などについても積極的に情報提供を行ってまいります。         | 学校教育課 |

### ○全般について

| No. | 意見の要旨  | 意見に対する市の考え方  | 担当課   |
|-----|--|--|-------|
| 15  | デジタル教科書は各教科の教科書の内容に繰り返し書き込みやマーキングでき、印刷された内容だけでなく、動画や音声などの関連情報を提示できるなど学習効果が高いと思われる。教師用のデジタル教科書だけでなく学習者用のデジタル教科書も生徒が自ら必要な箇所を読み取りがいつでもできるので家庭学習にも使用できるのではないかと考える。<br>学習ソフトについても効果的な学習のできる実践例は多く見られるが、実際に使用した場合の時間とその効果とのバランスがはつきりとせず、費用面などの要因も重なり合って全体の意思として活用できるようになるには教職員間でクリアしなければならない課題がまだまだ多いと考える。<br>これら現状をみて、ICT支援員の配置が必要ではないかと考える。ICT支援員を配置している学校の様子を聞いてみると、たとえ週1日でも2日でも授業支援、情報環境の整備、トラブル対応その他にあたってもらえるだけで教職員の業務の負担がかなり軽減されている現状があるという。機器の故障なのか、使用方法の不備なのか判断に困る場合があり、ヘルプデスクもかなり迅速に対応していただいているが、日々の業務にもすぐに対応してもらえる人がいるだけで教職員の安心感がうまれるのではないかと考える。 | 本市では、令和4年度から「鳥取市GIGAスクール運営支援センター」を設置し、学校現場での支援に努めているところです。今後も教職員研修の充実とあわせて、センターによる支援の充実を図ってまいります。  | 学校教育課 |
| 16  | ICT教育推進員を拡充していただき、支援体制の充実をお願いしたい。  |  |       |
| 17  | 自動採点システムの導入は教員の業務効率化になった。  | 今後も採点補助システムを有効に活用しながら、採点業務の効率化並びに指導と評価の一体化に向けた授業改善を進めていきたいと考えています。   | 学校教育課 |
| 18  | 各学校によって、タブレット端末の活用度が異なることから、地教委として統一の動きを作ってほしい。  | 「鳥取市GIGAスクール構想についてver.3」内の情報活用能力の体系表や運用ガイドライン等に基づき、どの学校でも活用が進められるよう取り組んでまいります。   | 学校教育課 |
| 19  | タブレット端末について、学年に応じた最低限身に着けるべき具体的技能の市民・保護者への周知と、活用の徹底。(鳥取市の子どもたちに身に付けてほしい技術は何なのか、具体的に知りたい)   | 「鳥取市GIGAスクール構想についてver.3」や「とっとりICT活用ハンドブック(鳥取県策定)」内の情報活用能力の体系表を本計画に資料として掲載するとともに、学校と保護者が共有することができるよう周知を図ってまいります。また、「鳥取市GIGAスクール構想についてver.3」内の情報活用能力の体系表や運用ガイドライン等に基づき、どの学校でも活用が進められるよう取り組んでまいります。 | 学校教育課 |

| No. | 意見の要旨   | 意見に対する市の考え方   | 担当課      |
|-----|---|---|----------|
| 20  | 欠席連絡・作品応募・会議への出欠等、保護者から学校への連絡のフォーム統一<br>(学校によっては既に実施しているところもあると聞く、足並みをそろえてほしい)  | 本市では、各学校で契約しているマチコミメールを活用し、令和5年度から欠席等連絡のオンライン化を進めることとしています。   | 学校教育課    |
| 21  | 全教科デジタル教科書の普及と活用<br>(2024年度に、国として実施の予定かもしれないが、確実に実施してほしい)   | 国の動向を注視し、学習者用デジタル教科書について必要な整備を進めます。   | 学校教育課    |
| 22  | すでにあるものを活用すればよいのだが、鳥取市教育委員会として作成する「熊本市教育センターデジタル教材」のようなコンテンツの提供もしくは紹介。<br>(家庭でも、授業で学んだように学べる。子どもが、学校で学んだことを家族に説明するツールにも使うことができる)        | 鳥取市教職員向けのサポートサイトで学校で活用できるデジタルコンテンツ等を周知するとともに、学校で使用されている自作教材の共有化を図ります。   | 学校教育課    |
| 23  | 無線LANの未設置家庭に対して、市教委として、今後どのような働きかけを行う予定なのか。<br>(各家庭の責任として、対応しないのか、補助金等を活用する予定なのか。)  | これまで家庭でのWi-Fi環境整備については、学校を通じて保護者あてに文書を配布するなどの働きかけを行い、Wi-Fiによるインターネット接続環境整備助成や通信費補助等により、未整備の家庭に支援を行っているところです。今後も継続して支援を行い、できる限り多くの家庭で環境が整備されるよう働きかけてまいります。 | 総合教育センター |
| 24  | 現代社会における、グローバル化や情報社会に対応するため、またその時代に適した教育課程を行うためにも本件は着実に進めていただきたい。   | 次代を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育むために、社会情勢や情報通信技術の進歩、国の動向等を注視し、学校教育の情報化を着実に進めてまいります。   | 学校教育課    |
| 25  | 学校・家庭については比較的周知され理解を得られやすいと感じるが、地域住民に関してはまだまだ理解していただけていないと感じる。高齢化社会が進む中でICTなどのグローバル化に目を向けない地域住民が大多数を占める。具体的な地域との連携を取り組みとして示してほしい。       | 学校教育情報化の取組について、学校公開や学校運営協議会等を通じて広報を積極的に行い、地域の方々からの理解を得られるよう取り組んでまいります。  | 学校教育課    |
| 26  | 今後もICT化を進める中で、例えば出席確認なども自宅タブレットでするようなことなどがあるなら、保護者―学校、子ども―学校の関係性の気薄、コミュニケーション能力の低下、子ども自身が出席確認を行うなどのリスクも増えてくると感じる。学習以外の活用方法は慎重にしても良いのでは。 | これまでの対面でのコミュニケーションについても大切にしたいうえで、必要に応じてICTを活用していきたいと考えています。   | 学校教育課    |
| 27  | 保護者の会議や研修など、使用方法を考えられたり打診することもあるかと思うが、このGIGAスクール構想は、保護者のためではなく子どもの学びを止めないための計画である。使用方法を模索することも大事ではあるが、そこにある根底は考え直すべきではないと思う。            | GIGAスクール構想は、「多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、子どもたち一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現（「GIGAスクール構想の実現へ」文部科学省）」をめざすものであり、子どもたちの学びをより充実させるよう計画を推進してまいります。        | 学校教育課    |

#### ○環境整備について

| No. | 意見の要旨  | 意見に対する市の考え方  | 担当課      |
|-----|--|--|----------|
| 28  | 普通教室の大型提示装置整備率66.7%を100%に近づけてほしい。  | 令和4年度末には普通教室の大型提示装置整備率100%を達成する見込みであり、どの普通教室でもモニターの活用が可能となります。 | 総合教育センター |
| 29  | すべての教室に、スマートテレビの設置<br>(大型モニターがある教室、ない教室が存在することのないように、大型モニター活用【特にスマートテレビ】は、どの教室でも行うことができるように環境を整える) |  |          |

| No. | 意見の要旨  | 意見に対する市の考え方  | 担当課      |
|-----|--|--|----------|
| 30  | 中学校でiPadを持ち帰りをしており、充電せずに学校に持って行くと充電コードの予備がないため困る。  | 本市では、教室にて設置している電源キャビネットの充電器を端末とセットで持ち帰り、家庭にて充電を行い、またセットで学校へ持参していただくこととしています。       | 総合教育センター |
| 31  | 生徒がiPadでつくったファイルを印刷できるような整備をしてほしい。   | 今後、検討していきたいと考えます。  | 総合教育センター |
| 32  | iPadのHDMI変換器やHDMIコードは良く壊れてしまうが、買い換えと高額なため情報教育消耗品の予算を組んでほしい。  | 今後、検討していきたいと考えます。  | 総合教育センター |
| 33  | 普通教室のICT環境は進んだが、体育館はまだWi-Fi環境が整備されておらず、体育の授業だけでなく、全校集会や学年集会、行事でのICTができない。また、校内でも入りにくい箇所があるので、早急に整備をしていただきたい。 | 体育館や校外学習等で活用できるよう、各学校にモバイルルーターを配備しています。また、校舎等の改修にあわせて相談室や体育館等のWi-Fi環境の整備を図ってまいります。 | 総合教育センター |
| 34  | 生徒支援加配教員や養護教諭などはタブレットの活用をしたいが、支給されていない。授業を担当する教師だけでなく、すべての教職員にタブレットの配布をお願いしたい。                               | 今後、検討していきたいと考えます。  | 総合教育センター |
| 35  | iPadに対して、アップルペンシル等スタイラスペンの標準装備（goodnoteアプリのように、漢字書き取り、計算など、ノートのように使用できるように）                                  | 今後、検討していきたいと考えます。  | 総合教育センター |

※「鳥取市情報化推進計画」中の【方針1】～【方針4】は【柱1】～【柱4】に変更します。